

100年間お待ちしました!

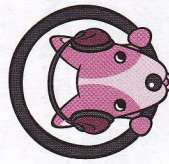
「マジックリスニング」の開発者と「百万人の英語」の編集者の協力で実現した
入門から上級まで使える世界初の本格的リスニング教材

もう英語は怖くない!

ドクター

伝式リスニングド.

説明書



開発・製造元

伝聴研

(株式会社 傳田聴覚システム研究所)

〒222-0013 横浜市港北区錦が丘 11-17

Tel. 045-439-5955 Fax. 045-439-5956

<http://www.denchoh.com>

E-mail: info@denchoh.com



この度は、英語リスニング教材「伝田式¹⁾リスニングDr.」をお求め頂き誠にありがとうございます。

西洋音楽を演奏する日本人が、「いくら努力しても西洋人のような演奏が出来ないのは何故か」というテーマを長年追求し、その原因が母国言語（日本人では日本語）にあることを突き止めました。

簡単に言えば、日本人は無意識に日本語なまりの英語を話し、日本語なまりのクラシックやジャズを演奏しており、それは母国語の音と言語習慣に基づく無意識の予測や思い込みが原因であると結論しました。

その日本語による予測や思い込みを排除するため、加工したクラシック音楽を聴くという手段で予測できない音を聴くトレーニングを考案しました。

その後、英語耳に矯正する世界初の製品「マジックリスニング」を開発し、楽天市場で人気第一位の大ヒット商品となっています。

この「マジックリスニング」開発直後から、更に効果的で内容の濃い教材を探していたところ、30数年にわたり一世を風靡したラジオ番組「百万人の英語」(文化放送)の編集者、小菅淳吉氏に巡り会い、この「リスニングDr.」のための教材を特別に書き下ろして頂くことができました。この画期的な英語テキストを得たことにより、念願のそして最強の英語リスニング教材に仕上がりました。

「なぜ日本人は英語が聴こえないのか?」「それを解決するにはどうしたらよいのか?」その明快な説明と解決法がここにあります。100年間お待たせしました。もう英語は怖くない! 初級から上級まで一生使える宝物です。どうぞご愛用ください。

ここでは、ネイティブが自然なスピードで日常会話やビジネス会話を話していますので、ちよつと難しそうですが心配はありません。スピードと話の内容に圧倒されないで下さい。STEP 1を聴いているだけで、英語が聞こえるようになる人も多いでしょう。なかなか聞こえない方も、テキストに従って学習し英語原音CDを聴くというSTEP 2の勉強法でレベルアップして、更にSTEP 3へ進んでください。

なぜ日本人は英語が聴き取れないのか? それをどう解決できるのか?

日本人は何年も英語を勉強している割に、ネイティブの英語が聴き取れないという悩みがあります。この原因と解決法を整理してみましょう。

1. 音として聴き取れない場合 (難聴などの場合は除く)

①本場の英語の音に慣れていない

本教材のLesson 1 ~ 14で正しい発音をしっかり訓練できる

②スピードが速いといっていない

速く話すと発音が変化するという事実の認識が不十分で、変化した場合の音が分らない速く話した場合の発音変化の問題は、本教材で重点的に訓練できる

③文章が長く複雑になると聴き取れない

長い文章になると拒絶反応がでることが原因

本教材では、Developing-Skills Cornerの長めの文章で訓練できる

④日本語の言語習慣で英語を聴こうとするので聞こえない

A) 英語を日本語の五十音に当てはめて聞こうとする(歌なら1音1音符²⁾開発後記)

B) 日本語と英語のリズムの相違で聞こえにくい

英語は「音の固まり」ごとに強弱強のリズムで読み、各「音の固まり」は等速度。

日本語はリズムがあいまいで高低アクセントがあり、1音1音が等速度。

C) 英語は子音が重要で高周波への関心が必要

日本語は母音が重要で500ヘルツあたりに関心がいき、日本人は英語の子音を捉えにくい。

日本語は息を腹にためてから声を出す習慣があまりなく、英語の子音のような概念がない。

既版の「マジックリスニング」同様、伝田式は言語習慣・リズムの問題解決に優れており、今回の「リスニングDr.」では更に強化された

2. 音としては聞こえるが意味がわからない場合

- ① **単語・熟語・フレーズなどの語彙力が不十分**
この教材(短文約300、単語約1000を含む)を学習・暗記して身につけること
かなり改善できる。
- ② **異文化の背景知識がないために理解できない**
広範囲な知識と教養を必要とされる。
また、発音の習慣を理解する必要がある。
※詳しくはテキストをご覧ください

日本語の言語習慣(日本語耳)をどのようにして英語耳に変えるのか?

日本人の耳は、どうしても母音の周波数帯に引っ張られて、子音に関心が
行きにくい傾向がありますが、伝田式では次の手法を用いて解決します
(☞開発後記)

- ① **英語に西洋音楽の高周波成分を加えている**
高周波だけの音楽とは、肉をそぎ落とし、骨だけ残した音楽ということでそのリズムを捉え
ており、これを聞くことで西洋音楽と共通した英語のリズムが聞こえてくる。更に高周波の
音楽に慣れてしまわないように、特許の技術で音楽に変化をつけている。(☞開発後記)
- ② **耳が高周波音楽に誘導されて子音と英語のリズムに関心が向く(☞開発後記)**
- ③ **子音が聞こえたと心に余裕が出て、英語がゆっくりと明瞭に聞こえる**
- ④ **この音楽がのった英語を聞いているうちに、音楽なしでも子音と英語
のリズムが捉えられるようになり、英語がよく聞こえる英語耳になる**



「マジックリスニング」は、この伝田式手法により大成功
を取めました。この「リスニングDr.」は、伝田式手法に加
えて、画期的なテキストと英語原音CDに従って訓練するの
で効果は大変に大きいのです。

製品の構成表

品名	数量	説明
① 特製専用ヘッドフォン	1本	伝聴研が聴算トレーニング用に特別に開発した特製専用ヘッドフォン 英語が聴きやすい
② トレーニングCD「土の精」(35分)	1枚	トレーニング音を中心にした35分の CDで日本語に慣れた耳を開放する 随時聴いてよい
③ 英語トレーニングCD「母音編」(68分)	1枚	「英語原音(母音編)」(E)にトレーニング 音を背景にのせて(Test以外)、英語 のリズムと聞き取り能力を強化
④ 英語トレーニングCD「子音編」(69分)	1枚	「英語原音(子音編)」(E)にトレーニング 音を背景にのせて(Test以外)、英語 のリズムと聞き取り能力を強化
⑤ 英語原音CD「母音編」 1倍速40分・1.6倍速28分	1枚	Lesson 1~7 (1倍速、1.6倍速) これが正しく聴けることが目標 1.6倍速も聴いて余裕を高める
⑥ 英語原音CD「子音編」 1倍速40分・1.6倍速29分	1枚	Lesson 8~14 (1倍速、1.6倍速) これが正しく聴けることが目標 1.6倍速も聴いて余裕を高める
⑦ 実力テストCD (付録の自然音20分は伝聴研 オリジナルCDより5種類 各4分を編集)	1枚	テスト約13分+自然音約20分 トレーニング開始前、途中、終了時 などに自分でリスニングの実力を評 価するために使う
⑧ システムガイドダンスCD	1枚	聴覚トレーニングシステム商品全般 を解説 ヘッドフォンや音響装置の慣らし運 転用に使ってピンクノイズ20分を含む
⑨ テキスト	1冊	⑤と⑥の英文と解説を含む画期的な 内容のテキスト (全112頁)
⑩ 説明書	1部	トレーニングの要領を示す説明書
⑪ CDマルチケース	1個	6枚のCDを収容できるケース
⑫ 化粧箱	1個	上記全体を収容する箱

トレーニングの手順

すぐにトレーニングを始めたくなくなるかも知れませんが、急がば回れといふこともありますので、順序を追って進めましょう

◆ 事前の準備と注意事項

1. まず添付のシステムガイドランスCDをお聞きください

「システムガイドランスCD」トラック9のピンクノイズ(ざー)という雑音(約20分)を、新品ヘッドフォンに4回合計80分間大きめの音で流します。**聞く必要はありません。**
聴覚トレーニングで効果を出す第一歩です。
(トレーニングには伝聴研特製の専用ヘッドフォンを使用しないと効果が激減します。)

2. CDプレーヤーはパソコンよりラジカセ型やコンポがお勧めです

トレーニングCDは、携帯型は一般に適していませんが、耐震機能が解除できるものなら使用できます。

3. ヘッドフォンはコードが左側にくるようにかけてください

ヘッドフォンのコードを引っ張ると断線の原因になります。抜くときは必ずプラグを持って引き抜いてください。

4. 低音・高音の強調はせず、音質調整をオフ(OFF)にして、音量は快適なレベルで気持ちよく聴いてください

実力確認 STEP

トレーニング効果を確認するため開始前、中、終了後に下記を行って下さい

1. 実力テスト:

製品構成表(P.4)の「実力テストCD」⑥を使い、専用ヘッドフォンで実施する。
解答用紙はテキスト6～9ページをコピーして使用する。
採点はトレーニング終了時にまとめて実施する。(それまで保管しておく)
スペルが誤りでも音を捉えていれば○とするが、LとRの間違いは×とする。

2. 「英語原音CD」⑤⑥の聴き取り確認:

「英語原音CD(母音編・子音編)」⑤⑥の中で、任意のLESSON(例: Lesson 1)を複数回聴き、どの程度まで聴き取れるか現状確認する。(少し/半分/大半/ほぼ全部、聴き取れるなど)

3. 自分の英文朗読を録音:

30秒位の読みなれた文章をMDレコーダーやカセットレコーダーで録音する。
この聴覚トレーニングの効果で発音も劇的に改善されることが確認されています。
(☞ FAQ-Q13)

予備的聴覚トレーニング



土の精

トレーニングCD「土の精」⑧を3回聴いて、まず準備運動を行います。
このCDは、能力開発用の七曜精シリーズ中(別売)の1枚で、随時聴いて下さい。
すでに伝聴研のトレーニングを受けた方は、このCDを省略しても構いません。
(トレーニングCD “七曜精シリーズ”のお問い合わせは伝聴研まで)

STEP 1



英語トレーニングCD

【すべての方がSTEP 1を行います】

目標: 「英語原音CD」⑤⑥の内容がある程度聴き取れることを目指す
(既に勉強が進んでいる方は、急激に聞き取りが改善するかもしれません)

STEP 1では、「英語トレーニングCD(母音編・子音編)」⑤⑥を通して2週間聴きます。後半の1週間は、(STEP 2の準備として)出来ればCDを聴く前に、テキストの内容を確認してから聴いてください。

通常「英語トレーニングCD」⑤⑥は1日1枚、少なくとも30分くらいは聴いてください。朝と夜半分ずつに分けたり、また(1日)1枚以上聴いても構いません。

STEP 1のトレーニングだけを3～4カ月の間隔をおいて繰り返す訓練方法もありますが更に効果を上げたい方はSTEP 2へ進んで下さい。

STEP 2



英語原音

目標: 「英語原音CD」⑤⑥の内容がほぼ全部聴き取れることを目指す

(STEP 2は、マジックリスニングが有効でなかった方も効果が出る強力な内容です)

これまでの予備的聴覚トレーニングとSTEP 1により、聴覚がかなり変わっています。

STEP 2では、テキストを勉強しながら、「英語原音CD」⑤⑥の聴き取り訓練をします。

ここでは「英語トレーニングCD」⑤⑥を、補助的に使います。聴き取りに不安があるときは十分に必要だと思われる部分を聴いて下さい。

「英語原音CD」⑤⑥と「英語トレーニングCD」⑤⑥のどちらを聴いても同じくらいよく聴きとれるようになれば、かなり英語耳ができています。

「英語トレーニングCD」⑤⑥を聴く期間は、STEP 1を含めて合計約30日(約30時間)で終了します。英語原音CD⑤⑥、テキストの勉強は続けて、ほぼ全部聞き取れるところまで訓練しましょう。その後、“実力確認STEP”(P.5)で、トレーニング前と比較します。

STEP 3

英語トレーニングCD、英語原音CD

目標：「英語原音CD」の内容が完全に聴き取れ、自由に使えることを目指す

STEP 2のトレーニングが進んだ状態がSTEP 3になります。テキストの例文を暗記し使いこなせるように訓練します。この教材を学習すると、聴き取り能力だけでなく、会話の面でも大きな改善がみられ、語彙も増え、飛躍的に力がついできます。英語の原音が十分聴き取れるようになったら、更に厳しい条件でも聴き取れるよう、音量を下げての聴き取りや、1.6倍速（英語原音CDの後半に入っている）の聴き取りの練習をしましょう。

この後は、半年に1回程度「英語トレーニングCD」◎と「英語原音CD」◎を聴き比べ同じくらい聞こえるかどうか確認します。

潜在的聴覚は勉強するたびに上がりますので、繰り返しトレーニングをお勧めします。

よくあるご質問FAQ

Q1 入手後すぐにトレーニングを始めた方がいいですか？

前出の「トレーニングの手順」の項をご覧ください。（P.5参照）

Q2 ヘッドフォンはマジックリスニング用や小型のものでもよいですか？

必ず伝聴研の特製専用ヘッドフォンをお使い下さい。ヘッドフォンはメーカーや機種によって音響特性が大きく異なります。人間の聴覚を改良するには微細な音響特性が必要となりますので特別なものを開発しました。マジックリスニングに付属のものや、他社のものでは効果が激減しますので、絶対にお使いにならないで下さい。

Q3 CDプレーヤーはどれがよいでしょうか？

ラジカセやコンポ、耐震機能が解除できる携帯型ならトレーニングCDにも使用できます。（パソコンや携帯型は一般的に伝聴研のトレーニングには適していません）耐震機能が働くこと、データ圧縮が行われ加工音楽の音質が著しく変化して訓練効果が激減します。加工音楽の入っていない原音CD◎は、どのプレーヤーでも問題ありません。

Q4 車・電車・新幹線・飛行機など乗り物の中で聴いてもよいですか？

車を運転しながらトレーニングCDを聴かないで下さい。眠くなる可能性があります。移動中は、周囲の雑音が大きいため、「英語原音CD」◎を主に聞いて下さい。その際プレーヤーは選びませんが、なるべく専用ヘッドフォンをお使いください。

Q5 CDはどの順で聴けばよいですか、またコピーして使いたいのですが？

始めはトレーニング手順に沿って、途中からは必要な部分を重点的に聴いて下さい。このCDはコピーすると効果が激減しますので、必ず原盤をお使いください。万一破損した場合は、破損品と引き換えに特別価格で交換いたします。

(7)

Q6 毎日聴かないとだめですか、また聞くのによい時間帯は？

（聴けない日があっても）なるべく連続してやってみてください。標準は1日1時間。（少なくとも30分、1時間以上でも可）できれば頭がクリアな集中できる時間帯が良いでしょう。

Q7 年齢制限や、聴かない方がよい人などありますか？

年齢制限はありません。どなたでも聴いて頂けます。未就学児の場合は保護者の管理下で、音量など無理のないよう実施して下さい。中耳炎や統合失調症などの場合は医師にご相談下さい。

Q8 例文などが難しいのですが、小さい子供や中学高校生にも使えますか？

難しい例文があっても大丈夫です。目的の音を追いかけけるゲームの感覚で、トレーニングCDを聞くだけでもリスニング能力を高める効果があります。

Q9 マジックリスニングで効果を感じなかった私でも大丈夫ですか？

小菅氏が書き下ろした本格的リスニングテキストと、トレーニングCDで、必ず効果が上がります。時間にしてもマジックリスニングの4倍の内容になっています。

Q10 このトレーニング音が不快に感じるのですが？

トレーニング音を不快に感じる方は非常に感度が良い方です。小さい音量から音楽に慣れていくか、短い時間から始めることにより、次第に気持ちよく聴くことができるでしょう。

Q11 終了後はどうすればよいですか、能力が消えませんか？

このトレーニングを終了したら、少し時間をおいてまた繰り返ししてください。一度ついた能力は簡単には消えません。一度自転車に乗れるようになれば、ずっと乗らなくても乗れるようなものです。（＝開発後記）
更なる訓練として、伝聴研のハイパーリスナーという専用機によるトレーニングがありますのでお問い合わせください。

Q12 音量は大きい方がよいですか？

その方にとって気分の良い音量で、という聴き方をお勧めします。

Q13 このトレーニングで本当に発音まで改善するのですか？

個人差はありますが、日本語的な英語が即座にネイティブに通じるリズムに変わります。アメリカ人の先生の採点では、トレーニング前には30点くらいの人が、トレーニング後には70点、80点にも上がるという驚くべき結果が出ています。

Q14 英語の他に何か効果がでますか？

ご自分をよく観察してみてください。耳の感度が上がって、テレビや人の声がよく聞こえるという方もいるでしょう。

また、脳が活性化しますので、心と身体と能力に色々変化がおきるかもしれません。

※ その他分らないことは、お気軽に伝聴研へお問い合わせください。

(8)

開発後記

「音楽には国境がない」とよく言われますが、実は言語以上に音楽には国境があったのです。この英語用聴覚トレーニングシステムは、長年音楽教育に携わり、音楽教育や演奏の矛盾から、どうして上達できないのかという素朴な疑問を重ねたことにより、その端を究めました。

音楽のセンスの根底には言語習慣がある。その論理が正しければ言語にも使えるはずだということで研究を進め、こうして英語教材をお困りできるようになったわけです。

大きくいいますと、文化の根底には言語習慣があります。耳に特定すれば、われわれは歳を重ねるに従って、日本語を聞き取るため、そして微細な感情をも聞き取るために発達していきます。それは英語が果たす英語圏の文化的背景による言語習慣とは大きく異なっています。

例えば日本語の特徴として、童謡や演歌を考えればお分かりのことと思いますが、50音全で一音一音符(一リズム)を当てはめて歌います。この日本語のリズムは、時には二つ(四つ)まとまり、三つまとまり、また俳句などは五つや七つまとまりとなり、その周期的なリズムは一樣ではなく、早くなったり遅くなったりしています。日本語でのラップは、一音一音符を当てはめるために非常に難しいことになってしまいますが、英語だと一音符の中にシラブル(音節)、単語を当てはめることができます。

この一音一音符の日本語の習慣を、英語を聴くときに無意識に当てはめてしまう、ということがおこります。これがカタカナ英語や日本人の演奏に現れているわけですから、つまり周期的なリズムの流れで捉えられない、ということなのです。

また日本語は子音が付属的で、母音に感情を込めたり、母音に微妙な変化をもたせます。つまり聞き手側は語尾変化を聞き取り、相手の感情を判断しています。この微細な音を聴く感性は世界に類がないと思われれば、敏感な感覚を持っていると思われませんが、外国語(特に西洋の言語)を聞き取る場合、出てもない母音を予測し、英語等で優勢な子音を聞き取る習慣がないために(日本語では付属的であるため)、たいへん強い語頭、語尾の子音が聴こえない(認知できない)と言ったことがおこります。

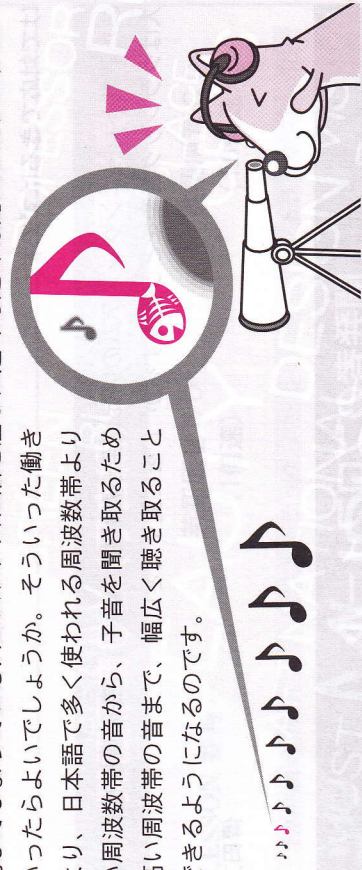
一般的に、母音の音程は低く(男性で500ヘルツ、女性で1000ヘルツ)、強い子音は8000ヘルツあたりまで伸びていることもあります。述べたように、私たち日本人は母音に重要な意味を持たせませんので、この低い周波数である母音部にいつも焦点を

当てて相手の感情を測ろうとしています。そのため子音が聴き取れないという障害が出てしまうわけなのです。

また一音一音符を当てはめるため、西洋言語のような周期的リズムが理解できません。皆さんの中にはカラオケで歌った経験がある方も多くありますが、伴奏よりも遅くリズムを取る方が、私たちには馴染みやすく、その方が音楽的にも上手く聞こえるものです。これが英語を話す、聴き取るときに大きな障害になるので、周期的なリズム、強弱のリズムが理解できないのです。

そのため本システムでは音楽の強い部分だけを取り出し、肉をそぎ落とします。つまり響きや基音(楽音)、残響などをそぎ落とすと、その音楽の骨の部分だけが残りまします。すなわち低周波を取り除き高周波だけにすることにより、はっきりしたリズムが出てきます。これにより、リズムを認知させることができます。

また低い周波数に固まってしまった聴覚、ズームレンズに例えれば、錆び付いて固定化してしまっているズームレンズに油を差し、遠くも近くも見えるようにする、といったらよいでしょうか。そういった働きにより、日本語で多く使われる周波数帯より低い周波数帯の音から、子音を聞き取るための高い周波数帯の音まで、幅広く聞き取ることができるようになります。



さらに聴こえる方向を変えることにより「こういう音がくるだろう」という予測を裏切ります。音は聞こえているわけですから、想像力が働きます。しかし予想と違うというところで慌てて脳が音を追いかけることになってしまいますので、日本語の想像力は働かなくなります。それによりあるがままの音を認知させることができるのです。基本的にこれを習慣づけるために、二週間から三週間の期間が必要になります。この方法によって聴こえ方だけでなく、敏感な方においては精神的な側面や体調面の変化まで確認できるかもしれません。

一旦開発された耳は大変新鮮なもので、獲得した聴覚は一生ものです。これは味覚や臭覚がどんどん発達していくことと同じです。しかしトレーニング後、数週間するとその新鮮さは消えていきます。それはその開発された耳が標準の耳になるためですが、その気になって耳を傾けると、その優れた耳はすぐに発揮できることとなります。

人間の感性は限度がなく、一回目のトレーニングで殆ど開発できますが、数ヶ月間経ちますと、潜在的な感性が芽生えてきます。そこで二回目のトレーニングを行います。こうして繰り返すことによって、より深い感覚へと導くことが可能になりますので、生涯を通して使って頂けるものと思います。

また、この「リスニングDr.」をもってしても今ひとつ効果が判らないという方は、数ヶ月間の休みをあげながら、複数回繰り返してあげてください。使って頂いてみて下さい。感性、感覚も次第に水面下から首をもたげるはずですが、その時に初めて自覚が出るでしょう。

この「リスニングDr.」のほかに、私どもで最も力を入れている通学、通信教育のシステム「ハイパーリスナー」もあります。能力面・精神面・身体面など幅広く、さまざまな目的に対応しておりますので、お問い合わせください。

なお英語原音CDの後半には、1.6倍速の原音が入っています。これはCNNなど早口の英語に慣れて頂くという目的のためです。

このトレーニングを受けた方、習熟された方は1.6倍速程度の英語には少し慣れるだけで対応できるはずです。

また聴覚トレーニングシステムの開発に至った経緯の詳細は「芸術現代社刊」"日本人はクラシック音楽をどう把握するか"をご覧ください。

傳田文夫

開発者のプロフィール

株式会社 傳田聴覚システム研究所 (伝聴研) 所長

傳田 文夫
Denda Fumio

東京生まれ。国立音楽大学クラリネット科卒。元洗足学園大学クラリネット講師。その間、指揮、演奏学で独自の道を開く。1994年 聴覚研究所設立。2001年 株式会社傳田聴覚システム研究所設立。流音聴力理論、母国言語聴覚認知論に基づく聴覚矯正及び学習システムの研究者。日本自閉症スペクトラム学会会員、日本音響学会会員、日本リズム協会理事、音楽熟成協会理事・同東京支部代表世話人。著書「日本人はクラシック音楽をどう把握するか」「クラリネット・サクソフォンの為のシングルリード調整法」(共に芸術現代社)

英語原音CD (母音編) E トラック番号表

LESSON 番号	英語原音 CD (1倍速)	英語原音 CD (1.6倍速)
Lesson 1	トラック 1 ~ 6	トラック 43 ~ 48
Lesson 2	トラック 7 ~ 12	トラック 49 ~ 54
Lesson 3	トラック 13 ~ 18	トラック 55 ~ 60
Lesson 4	トラック 19 ~ 24	トラック 61 ~ 66
Lesson 5	トラック 25 ~ 30	トラック 67 ~ 72
Lesson 6	トラック 31 ~ 36	トラック 73 ~ 78
Lesson 7	トラック 37 ~ 42	トラック 79 ~ 84

英語原音CD (子音編) F トラック番号表

LESSON 番号	英語原音 CD (1倍速)	英語原音 CD (1.6倍速)
Lesson 8	トラック 1 ~ 6	トラック 43 ~ 48
Lesson 9	トラック 7 ~ 12	トラック 49 ~ 54
Lesson 10	トラック 13 ~ 18	トラック 55 ~ 60
Lesson 11	トラック 19 ~ 24	トラック 61 ~ 66
Lesson 12	トラック 25 ~ 30	トラック 67 ~ 72
Lesson 13	トラック 31 ~ 36	トラック 73 ~ 78
Lesson 14	トラック 37 ~ 42	トラック 79 ~ 84

● 原音CDの構成は、各Lesson共に6トラックです

Target Sounds → Listening Practice 1 → Listening Practice 2 →
Listening Drills → Listening Skills/Corner → Listening Test

英語トレニングCD (母音編) ㊦トラック番号表

LESSON 番号	トラック 番号	作曲家/使用曲名
音楽 (*)	トラック 1	ワグナー/ 歌劇「タンホイザー」より賓客の入场
Lesson 1 (*)	トラック 2~6	
音楽 (*)	トラック 7	
Lesson 2 (*)	トラック 8~12	
音楽 (原音)	トラック 13	ガーシュイン/「パリのアメリカ人」
Lesson 3 (*)	トラック 14~18	
音楽 (原音)	トラック 19	
Lesson 4 (*)	トラック 20~24	
音楽 (原音)	トラック 25	ベルナンブーコ/「鐘の響き」ギター
Lesson 5 (*)	トラック 26~30	
Lesson 6 (*)	トラック 31~35	J.シュトラウスJr./ワルツ「文芸欄」
Lesson 7 (*)	トラック 36~40	ガーシュイン/「私の俄氏」
音楽 (*)	トラック 41	ワグナー/歌劇「タンホイザー」より賓客の入场

英語トレニングCD (子音編) ㊧トラック番号表

LESSON 番号	トラック 番号	作曲家/使用曲名
音楽 (*)	トラック 1	
Lesson 8 (*)	トラック 2~6	ガーシュイン/ 「ラブソング・イン・ブルー」
Lesson 9 (*)	トラック 7~11	
Lesson 10 (*)	トラック 12~16	
音楽 (原音)	トラック 17	ガルデル/「帰還」
Lesson 11 (*)	トラック 18~22	シベリウス/「カレリア」組曲
音楽 (原音)	トラック 23	サティ/「ワルツ・ハレエ」
Lesson 12 (*)	トラック 24~28	サティ/「あなたが欲しいの」
Lesson 13 (*)	トラック 29~33	モーツァルト/ディベルタイメントK.131
音楽 (原音)	トラック 34	チャイコフスキー/くるみ割り人形より「薔薇の踊り」
Lesson 14 (*)	トラック 35~39	J.S.バッハ/「無伴奏ヴァイオリンソナタ第一番」ギター版
音楽 (*)	トラック 40	ガーシュイン/「ラブソング・イン・ブルー」

● **トレニングCDの構成は、各Lesson共に5トラックです**
(Target Sounds と Listening Practice 1 は同一トラック)

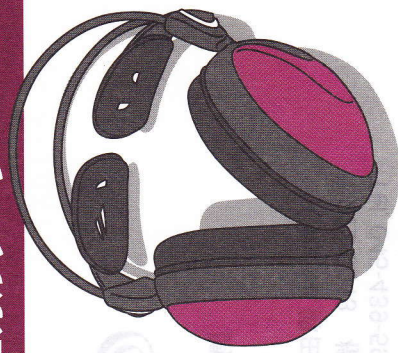
● **(*)は、トレニング音** (各Lesson末のテスト問題にはトレニング音は入っていません)

トレニングCD土の精 ㊢ (DCSB-06)

1. C.レーマン/「超特急列車行進曲」 [03:21]
2. シュトラウスJr./ オッティンガー騎兵行進曲Op.83 [02:24]
3. MA.シャヤンパルティエ/ 陽気な羊飼いはどこに行くのか [02:48]
4. グラナドス/「草原へ」 [02:38]
5. ヘンデル/ 合奏協奏曲より [05:53]
6. マクダウエル/「荒野のバラ」 [01:32]
7. スマタナ/わが祖国より「ボヘミヤの森と草原から」後半 [05:06]
8. グラナドス/ 詩的な情景第2集「遠い土地の思い出」 [02:36]
9. ガーシュイン/「アイガトリズム」 [04:10]
10. 深山の伏流水 (伝聴研オリジナル自然音シリーズ) [04:03]

曲番号に○がついているものは原音です
曲中に挿入している自然音は伝聴研オリジナル自然音を使用しています

ヘッドフォンテクニカルデータ



出力音圧レベル : 100dB/mW
再生周波数帯域 : 20~20,000Hz
許容入力 : 1400mW
インピーダンス : 60Ω
重量(コード除く) : 280g
イヤーパード : ソフトレザー